

様式 A 先端技術特別講義（専攻科教員）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	先端技術特別講義 Special Lecture on Advanced Engineering		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門・ 自然科学系共通・基礎	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	専攻科・全学年全専攻	必修・選択の別	選択
教員に かかわ る情報	担当教員・所属	小西大二郎・機械工学科, 中村重之・電気電子工学科		
	研究室等の連絡先	研究室: 小西 機械工学科棟 1 階 / 中村 教室棟 2 階 (内線: 8 2 5 8) (内線: 8 2 6 9) E-mail: konisi@tsuyama-ct.ac.jp nakamura@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	工学・社会科学		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(6)校外実習, 先端技術特別講義や学協会への参加を通じて, 地域社会との連携を図るとともに, 地球的視点からものを見ることの大切さを理解する。」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(A)技術に関する基礎知識の深化, A-1:工学に関する基礎知識として, 自然科学の幅広い分野の知識を修得し, 説明できること」であるが, 付随的には「G-1」にも関与する。内容は多岐にわたるので, 場合により地球的視野に立った人間性の育成や地域社会との連携による総合的能力の展開にも関連する。		
	授業の概要	学生の専門に直接関係する内容や, 周辺の各分野における最先端の技術動向ならびに研究状況を知るための特別講義である。知識を深めるとともに視野を広げ, 社会とのかかわりや技術が社会に及ぼす影響について広く学ぶ。		
	学習目的	日進月歩の技術の動向を知るとともに, 社会における技術の重要性を認識することにより, 研究や学習の新たな展開を図るための一助とする。		
	到達目標	1. 先端技術の動向を知り, 世の中で求められている技術や工学の内容を理解し, その概要を適切に説明できる。 2. 先端技術の方向に関して, 自らの考えや意見が言える。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1 単位あたり授業時間として 15 単位時間開講するが, これ以外に 30 単位時間の学習が必修となる。この科目は特別講義であり, 講義では短い時間にエッセンスが話されるのみであることを自覚し, 講義以外の学習にも時間をかけると共に, 課題に対しても十分な時間をかけて取り組むこと。		
履修のアドバイス		幅広いテーマについて実施されるので, 狭い専門にこだわることなく知見を拓けるように努力することが大切である。		
基礎科目		これまで学んできた知識全般		
関連科目		全ての科目		

授業にかかわる情報			
授業の方法		専攻科の指定する講演会・研修会・遠隔授業等の中から主体的に課題を選択し、これに参加するとともに、指定された課題を仕上げる。専攻科ホームページおよび電子メールで案内を流すので、見落とさないようにすること。	
授業計画	開講週	授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	1 時間 不定期 単位時間 2 時間 計 15 時間以上	● ガイダンス（年度初めのオリエンテーションで実施） ● 担当教員の指定する講演会・研修会・遠隔授業などへの参加 上記の講義等に 7 回以上参加し、各小課題で 4 回以上の合格点を貰う必要がある。	● 指定された課題の完成 報告書の作成
教科書，教材等		必要に応じて参考資料を配布	
成績評価方法		個々の課題ごとに担当教員が個別に明示するが、主に講義後の課題に関するレポートの評価による。本科目として開催される 7 回以上の講義等に参加し、4 回以上の小課題を提出し合格点をもらうこと。4 回以上の小課題で合格点をもらった場合は、成績の良いものから 4 つの平均点をもとに、年度末の専攻科運営委員会で最終の単位認定を行う。	
受講上のアドバイス		主として、外部講師による授業となるので、受講に際しては本校学生として礼を失しないように十分注意すること。	